

大分大山町農協の自己改革の取り組み

令和元年6月時点作成

農業者の所得増大・農業生産の拡大

- ① えのき栽培の維持
- ② 日田市ファーマーズスクール等による新規就農者の確保
- ③ 大山オーガニック農法の推進 土づくりの徹底
(生産部会の活動強化と関連して)
- ④ 木の花ガルテン出荷者の確保

地域の活性化

- ⑤ 包括的経済連携協定

「①えのき栽培の維持」

取組の概要

・エノキタケ栽培施設『都築工場』の安定生産

具体的な取組の内容

○ 都築工場の安定生産

▶ 年間3,000トンの出荷目標に対して、計画比90%の実績でした。



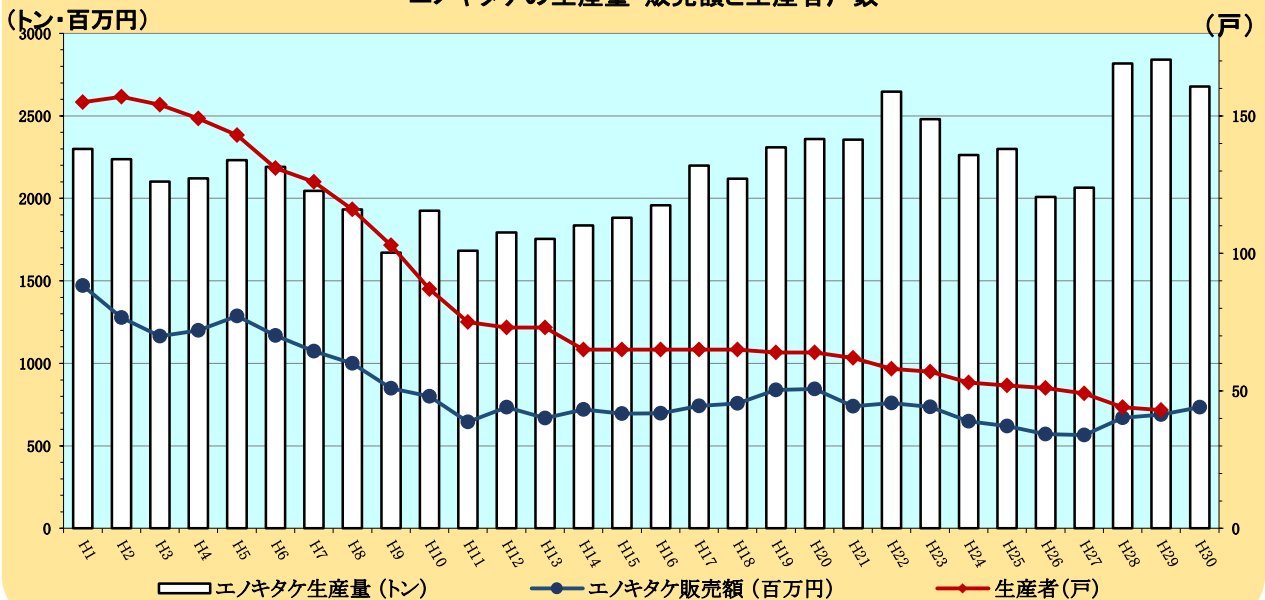
えのき栽培



ベトナム研修生(18名)研修中

取組の成果

エノキタケの生産量・販売額と生産者戸数



組合員の声・期待

- ・エノキタケは大山の主力商品であり、生産量及び販売額が農産物全体に与える影響は大きい。
- ・生産の安定維持の為、中心的な役割を果たしている。

「②新規就農者の確保」

取組の概要

- ・日田市ファーマーズスクール等による新規就農者の確保
- ・新規就農セミナー参加

具体的な取組の内容

- ・H29年5月に大山えのきファーマーズスクールを開校しました。
 - ▶ 都築工場で、実習及び座学の研修を実施しました。



- ▶ 新規就農セミナーに参加。
おおいた就農応援フェアに参加。

取組の成果

- ・H29年に大山えのきファーマーズスクールに入校した2名が2年間の研修を修了しました。
- ・令和元年8月より、230,000本/年の原木を入れて新規にえのき栽培に取り組む。

組合員の声・期待

- ・大山町のえのき後継者として期待している。
今後研修や研究を重ねて、大山えのきブランドの発展に寄与するものと期待する。

「③大山オーガニック農法の推進」 (生産部会の活動強化と関連して)

取組の概要

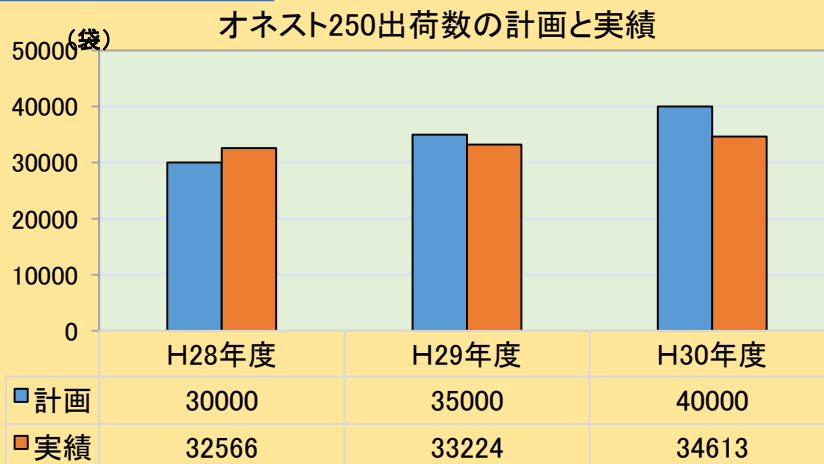
- ・土づくりの徹底
- ・生産部会の活動強化

具体的な取組の内容

- ・土づくりの徹底
 - ▶ 農協堆肥「オネスト250」及び堆積堆肥の供給拡大（1,500トンの堆肥を、40年間散布しています）
- ・生産部会の活動強化
 - ▶ 契約指導員の活用
 - ▶ 各部会毎に契約指導員による技術の継承



取組の成果



組合員の声・期待

- ・生産部会の活動強化として、知識や技術向上の為に講習会や先進地視察の要望がありますので、情報収集を行い対応を進めます。
- ・各部会の高い技術を持った指導員さん方から、直接的に技術の継承ができる。

「④木の花ガルテン出荷者の確保」

取組の概要

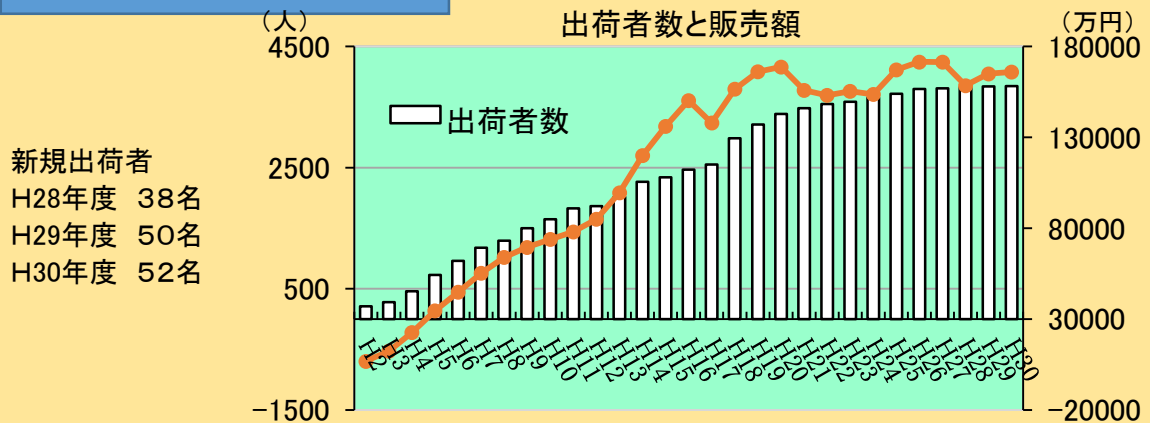
- ・新規出荷者の確保
- ・指導員による農家巡回指導
- ・講習会の開催

具体的な取組の内容

- ・新規出荷者の確保
 - ▶ 毎年20名を目標として、達成することができました。
- ・指導員による農家巡回
 - ▶ 専任の営農職員 1 名が新規出荷者を巡回指導しました。
- ・講習会の開催
 - ▶ 専任講師を招いて土づくり・栽培技術・農薬の使用方法等について講習会を開催しました。



取組の成果



組合員の声・期待

- ・農業所得の増大、生産拡大の為に木の花ガルテンの役割は重要で、具体的な取り組みの継続を望む声が多い。

「⑤包括的経済連携協定」

取組の概要

- ・日田漁業協同組合との連携
- ・県境を越えた、阿蘇農業協同組合との連携

具体的な取組の内容

- ・日田漁業協同組合
 - ▶ 筑後川最上流の清流で育った日田鮎の甘露煮、大山特産の実山椒で煮込んだ有馬煮を開発。今夏より販売開始。（山の幸・川の幸）
- ・阿蘇農業協同組合
 - ▶ 阿蘇農協の特産品づくりに、大山のオネスト250を散布して健康な野菜を生産、阿蘇農協特産品として、特設コーナーで販売開始。



取組の成果

- ・木の花ガルテン店舗の品揃えを更に強化、イベント催事なども増えて、来客数の増加が売り上げ拡大に繋がってきました。

組合員の声・期待

- ・他産地と差別化した品揃え、互いの利点を補完し合った店づくりで、生産拡大と農業所得の増大に繋がるように期待されている。

自己改革取組結果（H28～30年）

新規就農者5名、新規ガルテン出荷者108名、生産量として110%、販売金額で114%、生活サポート事業（高齢者支援）年間利用者515名の実績でした。
今後の自己改革取組として

令和元年～三ヶ年計画

- 農業者の所得増大、農業生産の拡大、地域の活性化に取り組めます。
- 協同組合の原点に立ち組合員の皆さんと常に密着した話し合いを深めます。
- 「農協総合事業」の強みを活かし、農家組合員・地域にとってなくてはならない組織であり自主、自立、自由を守り続けます。

農協は組合員の一人ひとりが力を合わせ、みんなの願いをかなえていく組織です。

1. 農協は農業者（正組合員）（准組合員）と共に地域農業を支える組織が協同組合です。組合員の営農と生活、生命と暮らしを守るため、様々な事業を総合的に展開しています。

幸い^{さいわ}に大山町農協は諸先輩^{しよせんぱい}方が賢明^{けんめい}な思想理念^{しそうれん}のもとに農産品の開発と営農、そして経営^{けんげんせい}の健全性の確立と財務基盤^{さいむきばん}の強化を高めてきています。いま現在、農協の純資産^{じゆんしさん}は出資金^{しゅっしき}の約4.6倍です。有形・無形の固定資産を合算しますと、約15倍になります。つまり一万円の出資金ですと十五万円の資産価値となります。

2. 農業者の所得向上や地域農業の振興と活性化を目的に、農産物の販売や信用事業、共済事業などの様々な事業を総合的に結び付け、地域づくりに取り組んでいます。

3. 地域農業・農村の振興発展のためには、新しい技術や資金、人材が必要です。私たちは従来の農協事業（信用、共済、購買、販売）を内需事業としてここからは利益を得ず、今までの事業とは異なる外需事業（食品加工、菌茸類栽培、農産品直販、外商、里山公園等）で外貨を得て、農家組合員の所得向上と生活基盤の安定へ貢献いたします。農産品直販、外商、里山公園等）で外貨を得て、農家組合員の所得向上と生活基盤の安定へ貢献いたします。

①「農業の六次産業化」の言葉と理論、発祥の地が大山です。元祖にふさわしい収益率の高い農業の六次産業化を更に前進します。

②都市と農村の多面的交流の場、いのち・よみがえる「五馬媛の里」（現在29.0ha）農業者のテーマパークを更に進め、百花繚乱咲きほこる桃源郷の世界「心の遊園地」をつくります。

③日田漁業協同組合とは垣根を越え、熊本県阿蘇農協とは県境を越えて包括的経済連携協定を締結しています。この事業実績を確実に伸ばしていきます。

④地域集落文産（文化と産業）施設事業の推進

ひとつの方法として、各地域集落にビニールハウス（約五〇〇坪）、農協本工場と連携した食品加工房、菌茸類栽培施設等を農協で建設します。そこは生産現場であり、働く人の休憩談話施設も併設してコミュニティ文化育成の場とします。高齢者の方々にそこで働くことを希望すれば農協の契約職員として採用し給与をお支払いします。高齢者の方は年金プラス給料で安心して暮せる老後の生活が保障されます。産業と文化が共に補完し支え合って発展することを願って、この事業を「地域集落文産施設」と名付けました。「農村は民族の母であり、農村は宝の山です。」農業はさまざまなアイデアと工夫で無限の可能性を秘めています。協同の精神と知恵で、「もっといい農村、もっといい暮らし、もっといい家庭、もっといい農協」を創っていきます。

⑤担い手の育成と遊休地対策

後継者の会や新規就農者の育成を継続します。また、遊休地の斡旋等により農地の荒廃化防止に取り組めます。

⑥オーガニックランドの更なる挑戦

40年以上、きのこ栽培堆肥（オネスト250）を年間1,500トン農地に散布施肥して土づくりを行ってきました。「安心」「安全」「健康」そして「美味しさ」にこだわり、大山オーガニック農法の推進をします。

4. 総合事業を通じて、地域の農業や暮らしを守り、協同の精神を子や孫の次代につなげるための活動に取り組んでいきます。